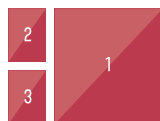


株式会社 イワシタ

対象類型 ものづくり技術・精密加工
事業類型 成長分野型・航空・宇宙
主たる目的 生産性向上

航空機用アルミ長尺材加工機の品質向上および納期短縮を図るための大型門形加工機の導入



1／アルミ長尺材加工機の主要4部品を内製化するために導入した5面加工門形マシニングセンタ。 2／内製化した部品を用いることで納期短縮と高精度化が図られたアルミ長尺材加工機。 3／ベースの部分だけでなく、ヘッドやコラム、サドルといった加工機の3軸動作に関わる重要部にも内製部品を用いている。

主要部品の内製化によって、納期短縮と高精度化を実現。

イワシタは、航空機の内装材のフレーム加工などに用いられるアルミ長尺材加工機を製造している。その部品のうち4つの外注加工品（ベース、ヘッド、コラム、サドル）の納期が2.5～3.5カ月と長く、納期のばらつきによって製造現場での手待ちも多く発生し、加工機の納期は3.5～4.5カ月を要していた。

本事業で、これら4部品の内製化のため5面加工門形マシニングセンタを導入した。同設備は縦・横方向を一台で工程を分けずに加工できるため、高剛性で高精度な部品の製造が可能。品質のばらつきなく、外注よりも加工精度が高い部品を製造できるようになった。部品の内製に要する期間は

1.5～2.5カ月、顧客への加工機の納期も2.5～3.5カ月と、それぞれ約1カ月短縮され、最短では1.5カ月で納入できるケースもあった。

導入初年度から内製は本格稼働し、航空産業分野の市場拡大に伴う受注増への対応が可能となった。加工機の利用範囲も内装材だけでなく、機体の構造材へも拡大。納期短縮で生まれた余裕は、納入時の十分な調整などに充て、よりよい状態で顧客に引き渡せるようになった。業績も堅調に推移しており、現在ではアルミ用加工機は売り上げの6～7割を占める主力商品に成長した。

注目すべき成果

大幅な納期短縮で
受注増に対応。

製造工程で手待ちや納期の遅れの原因となっていた主要部品の問題を解消。内製化後は、大幅な納期短縮によって顧客の設備投資意欲の高まりにも対応できたことで信頼も深まり、さらなる受注増につながっている。

事業活動の 付加価値

コスト面でも
大きな低減効果。

特に負担の大きかった大型の主要部品を始め、外注加工コストが大幅に低減。特に本事業の対象となったアルミ長尺材加工機では、加工の高精度化が図られるとともに、コスト削減効果が大きかった。

今後の展望

アルミ長尺材加工機が
活躍できる場を広げていく。

航空機産業分野では加工機の普及が進んでおり、当社の顧客からの信頼も高まっている。同産業の成長による効果に期待するとともに、自動車や環境・エネルギー、健康・医療など、より多様な成長分野での利用拡大を目指す。

ものづくり専門員から一言

ものづくり補助金が生み出す
“時間の価値”。

航空機産業分野進出による発注増も、高精度な加工技術の壁に直面。大型投資の成否判断を、後継者の「時間を買う」意識により決断。ものづくり補助金等の支援を受けた大型投資は、従来なら逃げていた案件の受注とともに、納入機械の品質向上から新規取引先開拓に繋がっている。

こんな会社です！

サービス業でのノウハウを ものづくりにも反映。

当社は1960年に工作機械分野に進出し、フライス盤製造を50年以上続けてきました。その一方で平成8年にスーパー銭湯「越のゆ」を開業。以来、関連会社で公共温浴施設の運営や、「いきなり! ステーキ」などのフードビジネスも展開しています。こうしたサービス業で得られたお客様の声に耳を傾けるサービスの心が、工作機械の製造にも還元されています。特にお客様のご要望に合わせてゼロから設計、製造する特殊工作機械・専用機の製造では、何度もヒアリングを繰り返してお客様のニーズを反映する姿勢に活かされています。



関連会社では温浴施設の運営や「いきなり! ステーキ」などのフードビジネスも展開している。



取締役管理部長
川端 孝明さん



本社・工場

株式会社 イワシタ

代表者：代表取締役 岩下 大介
設立：1949年（昭和24年）4月
資本金：6,500万円
従業員数：50名

事業内容：金属加工機械の設計、製造

本社：〒910-2175 福井市円成寺町1-6
☎ 0776-41-0666 FAX 0776-41-3715
E-mail : webmaster@iwashita-net.com
<https://www.iwashita-net.com/>